

令和3年7月11日から令和3年9月24日までの出来事を掲載しました。



木村産業研究所(在府町)が、令和3年8月2日に国の重要文化財に指定されました。現存する日本最古のモダニズム建築で、建築家前川國男氏が世界的な建築家ル・コルビュジェのもとで学んだ後、日本で最初に手がけた作品です。この写真は竣工時(昭和7年)の木村産業研究所です。(市都市計画課提供)

## 議 会 ト ピ ッ ク ス

### タブレット端末操作講習会を開催

弘前市議会は令和3年第1回定例会からタブレット端末を導入し、紙資料の削減を目指しながら会議運営を行ってきております。

令和3年8月27日(金)には、タブレット端末の操作について、希望した議員に対して操作講習会を開催。事務局職員からペーパーレス会議システムなどの操作方法の説明があり、出席した議員は基本操作から便利な機能の使用方法まで学びました。



説明を受けながら、いろいろな操作方法を確認

### 「北海道・北東北の縄文遺跡群」 世界遺産登録記念セレモニーに出席



環状列石を囲む様子(写真上)と出席議員(下)

令和3年7月27日(火)、「大森勝山遺跡」を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されました。7月29日(木)には同遺跡で記念セレモニーが行われ、地元の小・中学生などが環状列石を囲んで登録を祝い、市議会からも議員が出席しました。

## 令和3年第2回臨時会

### 市長提出議案 2件

【会期：令和3年8月5日(木)】

#### ●令和3年度弘前市一般会計補正予算（第7号）

新型コロナウイルス感染症に係る対応として、ワクチン接種及び弘前城菊と紅葉まつりに係る経費を追加するほか、飲食業への事業継続支援金並びに観光需要喚起に係る経費を計上するものです。

補正額 6億5551万8千円

#### 8月補正後の令和3年度予算

一般会計 787億3571万7千円  
 （8月補正額 6億5551万8千円）  
 特別会計 407億6041万6千円  
 （8月補正額 0円）

補正内容	事業費（千円）
新型コロナウイルスワクチン接種事業追加 <sup>※1</sup>	403,018
飲食業事業継続支援金 <sup>※2</sup>	140,000
ひろさき観光需要喚起事業 <sup>※2</sup>	88,500
四大まつり開催事業追加（弘前城菊と紅葉まつり） <sup>※2</sup>	24,000

※1は新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金及び新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金が、※2は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が財源として見込まれております。

## 令和3年第3回定例会

### 市長提出議案 18件

【会期：令和3年8月27日(金)～9月24日(金)】

#### ●令和3年度弘前市一般会計補正予算（第8号）

新型コロナウイルス感染症への対応として、大学生への食の支援及び成人式に係る感染拡大防止に要する経費を計上するほか、次世代医療基盤法に基づく医療情報提供に要する経費や収益力強化のための農業機械導入に対する補助金などを計上するものです。

また、私立保育所等整備事業に係る継続費の補正及び同事業などに係る地方債の補正をするものです。

補正額 2億8669万8千円

補正内容	事業費（千円）
食で応援！学生支援業務委託料	2,645
弘前産りんご消費拡大戦略事業追加	5,259
成人式事業追加	2,710

【新型コロナウイルス感染症への対応に係る補正のみ表記】

#### ●令和3年度弘前市一般会計補正予算（第9号）

新型コロナウイルス感染症に係る対応として、団体等が実施する販売促進事業に対する補助金及び宿泊業に対する事業継続支援金並びにバス路線の確保・維持に対する補助金を計上するものです。

補正額 2億3784万9千円

補正内容	事業費（千円）
団体等販売促進緊急対策事業費補助金追加 <sup>※3</sup>	100,000
宿泊業事業継続支援金 <sup>※3</sup>	40,000
路線バス維持特別対策事業費補助金	97,849

※3は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が財源として見込まれております。

#### 9月補正後の令和3年度予算

一般会計 792億6026万4千円  
 （9月補正額 5億2454万7千円）  
 特別会計 416億7077万2千円  
 （9月補正額 9億1035万6千円）



予算決算常任委員会での審査の過程で、令和3年度弘前市一般会計補正予算（第8号）について、「食で応援！学生支援業務委託料についての附帯決議（案）」が出されました。

提案理由は「学生に支援する食材はアップルパイではなく主食となるものにする。」です。

※採決結果は否決となりました。

### 陳情 1件

※陳情書は議員に参考配付しました。

○辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情

**令和2年度決算審査**

令和3年第3回定例会中に行われた予算決算常任委員会では、令和2年度弘前市一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計の各決算等について審議しました。

**一般会計 決算額**

歳入額 977億7982万6664円  
 歳出額 969億9826万7224円  
 繰越額 7億8155万9440円

**一般会計歳入歳出決算に対する討論**

反対・賛成それぞれの立場の要旨を掲載します。

**○反対の要旨** 以下の理由で反対する。

- ・消費税減税と富裕層への優遇見直しを求めていくべき
- ・圏域行政、定住自立圏構想などに市政の軸足を置く必要はない

**○賛成の要旨** 以下の理由で賛成する。

- ・20回を超える補正予算を編成し、市民の命と生活を守り、地域経済の下支えに全力で取り組んでいた
- ・実質公債費比率と将来負担比率は、早期健全化基準を大きく下回っており、良好な比率を維持している

**国民健康保険特別会計歳入歳出決算に対する討論**

反対・賛成それぞれの立場の要旨を掲載します。

**○反対の要旨** 以下の理由で反対する。

- ・高すぎる保険料の実態が続いている
- ・生活困窮者へ積極的に減免制度を行ったり、福祉政策につながる方向へ行政を転換すべき

**○賛成の要旨** 以下の理由で賛成する。

- ・保険料収納率向上対策や医療費適正化対策の取組
- ・累積赤字の解消、財政調整基金残高は約18億6千万円となる見込みで安定的な財政運営ができています

**議員提出議案 1件**

**条例の改正**

○弘前市議会委員会条例の一部を改正する  
 条例案

**議員発議 1件**

**意見書**

○コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書（案）

**一般質問**

質問・答弁の要約を掲載いたします。

※敬称略。( )は所属党派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。

※QRコードを読み取ると、一般質問の録画映像を閲覧することができます。



石田 久  
 (日本共産党)



**介護保険について**

**問** 「補足給付」の見直しについて。

**答** 介護保険施設に入所したり、短期入所生活介護等を利用した場合の食費や居住費負担を軽減する「補足給付」が8月から見直された。第3段階②へ区分され、食費の負担が増加した方は416名、預貯金等基準額の超過により補足給付の要件に非該当となった方は55名となっている。

**国保について**

**問** 第2期青森県国保運営方針について。

**答** 現在、市町村における保険料の算定方式は、所得割、平等割、均等割の3つの賦課をする3方式と、資産割を加えた4方式が混在。令和7年度までにすべての市町村で3方式に統一する。また、法定外での一般会計繰入や繰上充用に頼ることなく安定的な運営に努めることとしている。なお、現在の運営方針では、保険料の統一時期は明確に示されていない。



松橋 武史  
 (櫻鳴会)



**岩木山観光の現状と今後について**

**問** 岩木山とその周辺地域の観光振興の現状と今後の取組を問う。

**答** 豊富で魅力的な観光資源を最大限に活用するなど、岩木山及びその周辺地域の観光振興を強力に推し進めることで、地域振興や経済活性化につなげていく。

**身体障害者福祉センターについて**

**問** 建て替えに係る市の意向を問う。

**答** 現在地での建て替えを行うことと

し、令和6年度の供用開始を目指して、令和3年度に解体工事を行う。

**成年後見制度の利用促進について**

**問** 弘前圏域権利擁護支援センターの現状を問う。

**答** センター開設により、所管する行政区域が広域化しただけでなく、様々な角度から権利擁護支援につながる動きができており、期待された地域連携ネットワークを調整する役割を果たしている。

一般質問の写真は、過去に撮影した写真を使用しています。

令和3年第3回定例会も、新型コロナウイルス感染症対策として1人の質問時間を60分から50分に短縮しました。



坂本 崇  
(櫻鳴会)

**障がいのある方の就労支援について**

**問** 特別支援学校生のインターンシップについて伺う。

**答** つがる地区障害者就労支援連絡会から市役所でのインターンシップ制度の整備についての要望があり、6月14日から25日までの期間で県立弘前第一養護学校及び弘前大学教育学部附属特別支援学校の高等部3年生3名のインターンシップを実施。参加した生徒にとっては、働く

意欲や自信を深める機会になったものと思われ、市にとっても、これまで以上に障がいへの理解を深め、障がい者雇用を進める上で必要なノウハウを得る機会となった。この経験を活かし、来年度以降もインターンシップを実施していきたい。

〈その他の質問項目〉

○農福連携について ○災害ボランティアについて ○弘前れんが倉庫美術館周辺の価値向上事業構想について



齋藤 豪  
(櫻鳴会)

**コロナウイルス感染症について**

**問** コロナ禍における市の学生支援は。

**答** 市は昨年度、米や特産品を市内の大学や専門学校の学生に配布したほか、防災備蓄品の配布、市の業務への学生アルバイトの活用など多面的な支援を行った。今年度は、甘いものや外食を我慢する学生が多いという意見などを踏まえ、アップルパイを提供して少しでも元気になってもらいたいと考えている。また、

市の補助金を活用した学生向け地域振興券事業が大学コンソーシアム学都ひろさきによって10月から実施される予定であり、これらを利用して明るく豊かな学生生活を送っていただきたいと願っている。

〈その他の質問項目〉

○コロナウイルス感染症（ワクチン接種の状況、感染症対策の進捗状況と今後の取組、市の経済対策） ○歴史的資源を生かした観光とまちづくり ○観光と弘前ねぷた



千葉 浩規  
(日本共産党)

**米価暴落対策について**

**問** 米価暴落に対する本市としての取組について答えよ。

**答** 令和3年産での米価下落による農業経営への影響が懸念されていたことから、市や農業協同組合等で構成する「弘前市農業再生協議会」では、主食用米の作付農業者に対して、主食用米からの転換を促すチラシや収入減少影響緩和交付金、いわゆるナラシ対策の加入促進チラシを

配布した。この結果、呼びかけ後に飼料用米に転換した農業者は18経営体になり、本年産における飼料用米の取組者は合計33経営体となり、取組面積は昨年度の約6倍の約190ヘクタールとなった。また、呼びかけ後のナラシ対策加入者は52経営体となり、合計94経営体となった。

〈その他の質問項目〉 ○生活保護世帯の冷房器具の設置 ○教育行政（コロナ感染対策、市立小中学校の校則等）



蛭名 正樹  
(創和会)

**災害対策基本法の改正に伴う市防災計画等の見直しについて**

**問** 弘前市地域防災計画等の変更は。

**答** 弘前市地域防災計画は、国の防災基本計画や、今年度修正予定の青森県地域防災計画と整合を図るため、令和4年度に修正する予定。現在、各種マニュアル等を含め、見直し作業を進めている。

**設計図書の積算ミスと契約行為の取扱いについて**

**問** 積算ミスの再発防止に向けた対策は。

**答** チェックリストの改善や経験豊富な職員による設計書の審査のほか、新たに各課の主要工種の単価を共有し、設計書の作成及び審査の過程で照合するなど確認体制の強化を図る。

今回の積算誤りによる事務処理ミスで、入札の取消し等により落札者には多大な御迷惑をおかけした。今後は再発防止に努め、信頼回復に向けて万全を期したい。



野村 太郎  
(創和会)

**ねぶたまつりの今後について**

**問** 今年実施した町内運行を踏まえ、来年のまつりに対する市の考えを問う。

**答** 例年合同運行に参加している約80団体のうち、51団体から支援金等の申請があり、地域や町内において運行や展示が行われ、ねぷた文化の歴史や伝統の継承につながったものと考える。

来年こそは、盛大に、安全安心に開催できるよう万全の態勢で準備を進める。

**ハンターの養成について**

**問** 本市のハンターの現状とその評価を問う。

**答** 新たな鳥獣捕獲の担い手となるハンターを確保することを目的に、市の有害鳥獣捕獲への協力を条件として新規狩猟免許取得者に経費を助成しており、一定の効果が出ていることから、今年度は昨年度の2倍の予算枠を計上しており、さらなる確保につなげていく。



木村 隆洋  
(創和会)



**当市のスポーツ環境について**

**問** 子供たちのスポーツ環境について。

**答** 種目の制限が見られる郊外地域やスポーツ少年団が組織できない地域で様々な種目のスポーツを経験できるよう、スポーツ環境整備支援事業を行っている。より多くの子供たちがスポーツに触れ、楽しみ、親しむことができるよう、スポーツ環境の充実に向け取り組んでいく。**新型コロナウイルス感染拡大による地域経済の影**

**響について**

**問** 市の見解を伺う。

**答** 市民の日常生活への影響とともに事業者の事業活動にもこれまで以上の影響が懸念される。弘前商工会議所等の関係団体と連携し、引き続き地域経済の状況を注視し、迅速かつ的確な施策展開によって、地域経済の維持・回復に努める。**〈その他の質問項目〉**  
○当市の一般廃棄物処理状況について



竹内 博之  
(さくら未来)



**弘前市立病院・旧第一大成小学校跡地活用基本構想について**

**問** ステークホルダーとの対話により策定ができていますのか伺う。

**答** 「健康づくりのまちなか拠点」として有効活用されるよう、これまでの市民等懇談会等とは別に、関係団体等の意見を伺う機会を設ける予定。その後も必要とされる関係団体等の意見を伺い、多くの市民等に快適に利用され、健康寿命の

延伸と中心市街地の活性化が図られるよう、市民との協働により検討を進める。**地域脱炭素社会実現に向けた当市の戦略について**

**問** どのように考えているのか伺う。

**答** ゼロカーボンシティの取組は脱炭素を成長の機会と捉える時代において、地域の成長戦略となり得るもので、「ゼロカーボンシティ宣言」を含め、当市の地域特性を最大限活かした取組を進めたい。



外崎 勝康  
(木揚公明)



**ファシリティマネジメントについて**

**問** 現状と新たな組織体制を問う。

**答** 関係部の連携強化を図り、課題を踏まえた組織体制の在り方を研究し、現在の体制がより有効に機能するよう努める。

**旧弘前市立図書館について**

**問** 建物の現状と今後の計画を問う。

**答** 令和2年度に文化財建造物としての価値を守るため、屋根周りを中心に保存修理を実施した。今後は耐震補強工事を

実施し、市を代表する明治の洋風建築としてさらなる魅力の創出を目指していく。

**新型コロナウイルス感染症について**

**問** 抗体カクテル療法の計画を問う。

**答** 市としては、抗体カクテル療法が、ワクチン接種に加え、重症化予防対策としての効果を期待するところであり、国等の動向を踏まえ、当市の新型コロナウイルス感染症対策の効果的な展開が図れるよう今後も情報を収集していきたい。



成田 大介  
(無所属)



**教育行政について**

**問** 通学路整備について。

**答** 本年6月下旬に千葉県八街市で下校途中の児童の列にトラックが突っ込み、5名が死傷する痛ましい事故の発生を受け、7月中旬に県を通じ文部科学省から通学路の合同点検の依頼があった。教育委員会には、8月末までに29校から95の危険箇所の報告があり、9月下旬から順次合同点検を実施する予定。関係機関と

の情報共有を図り、危険箇所の解消に努めて通学路の安全対策を進めていく。

**保育事業について**

**問** 保育施設等の感染対策について。

**答** 保育所等従事者のワクチン接種については、キャンセル等による余剰ワクチンの活用や、先行予約等により接種の促進を図り、全87施設の従事者1,687人のうち、2回目を接種した人の割合は8月31日現在で87.5%である。

**令和3年第3回定例会日程 (29日間)**

8月27日(金) 本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明	9月14日(火)～9月17日(金) 常任委員会	予算決算
8月28日(土)～9月6日(月)	議案熟考	9月18日(土)～9月23日(木)	議事整理
9月7日(火)～9月9日(木) 本会議	一般質問	9月24日(金) 本会議	各委員長報告、質疑、討論、表決、閉会
9月10日(金) 本会議	一般質問、議案付託		
9月13日(月) 常任委員会	厚生、経済文教、総務		

弘前市マスコットキャラクター たか丸くんエコバージョン





石山 敬  
(創和会)



**集落支援員制度について**

**問** 制度の概要について問う。

**答** 集落支援員制度は、集落対策について知見のある人材等が地方自治体から委嘱を受け、市町村職員と連携しながら集落の巡回等を実施し、それを踏まえて集落の維持活性化の取組を行う制度。県内ではむつ市と中泊町で導入されている。

**農業と障がい福祉の連携について**

**問** 近年の農福連携の取組について問う。

**答** 今年度、農業分野に施設外就労可能な事業所の参加を募ったところ、8月末現在で8事業所が就労可能で、うち7事業所が農作業に従事している状況である。

今後も市の基幹産業である農業の補助労働力不足の解消に向けた取組を強化し、農業の維持発展につなげるとともに、障がい者の就労機会の創出に努めていく。

〈その他の質問項目〉

- 営農継続政策
- 学校開放の状況



尾崎 寿一  
(創和会)



**りんご作業の補助労働力不足について**

**問** 市の認識と対策は。市職員の副業を許可し、労働力の確保ができないか。

**答** 農業者を対象としたアンケートの結果、約8割の農業者が労働力不足の問題を抱えていた。市では、初心者向けりんご研修会の開催、弘前市農業無料職業紹介所の設置、農福連携モデル事業や休職者等農業マッチング緊急支援事業などを実施のほか、補助労働力不足解消のため、

本年10月から市職員が兼業として休日等にりんご生産のアルバイトができるように現在制度設計中である。また、市内の民間企業等でも兼業による農作業への参加を広げるために弘前商工会議所と協議中で、地域一体となって補助労働力不足解消に向けた取組を強力に推進し、りんご産業のさらなる発展につなげていく。

〈その他の質問項目〉

- 小規模特認校について



越 明 男  
(日本共産党)



**市立病院・旧一大小跡地活用検討事業について**

**問** 各種会議を踏まえた検討状況及び事業規模、パブリックコメントの状況を踏まえた進捗状況について問う。

**答** 令和2年度から基本構想の素案策定に向けて関係団体や学識経験者等から意見を伺って検討を進めた。本年6月には、健康・医療・福祉に資する機能を中心に、多様な世代の交流機能、市民が集い学べ

る機能を集約し、相互連携による効果的な取組が図れる魅力的な空間を創出する場所として当該地を「健康づくりのまちなか拠点」と位置付け、健康寿命の延伸につながる活用を図ることとした基本構想の素案をまとめ、7月1日から7月30日までパブリックコメントを実施した。

〈その他の質問項目〉

- 弘前市第三セクターについて
- アスベスト含有分析調査業務について

弘前市議会ホームページ <http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gikai/index.html>

インターネットによるライブ中継・録画中継、会議録検索システム、議会の日程など、市議会の情報はこちらをご覧ください。

弘前市議会 インターネット中継

検索

弘前市議会 会議録

検索



**議案等に対する各議員の賛否状況**

○は賛成、●は反対。欠は欠席。－は採決に加わらなかったもの。  
議長（清野一榮）は採決に加わっていません。※賛否が分かれた議案等のみ掲載しております。

議案等名	採決結果	竹内博之	成田大介	坂本崇	齋藤豪	福士文敏	蛭名正樹	石山敬	木村隆洋	千葉浩規	野村太郎	外崎勝康	尾崎寿一	蒔苗博英
【令和3年第2回臨時会】														
賛否が分かれた議案はありませんでした。														
【令和3年第3回定例会】														
令和2年度弘前市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	○	○
令和2年度弘前市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	●	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	○	○
令和2年度弘前市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	○	○



石岡 千鶴子  
(無所属)



**陸羯南の詩碑について**

**問** 大切な観光資源として、市が管理する、または協力はできないか。

**答** 詩碑は、鳴海病院の創始者である鳴海康仲氏が建立した。詩碑のある敷地の維持・管理は、地元狼森地区住民の協力を得ながら鳴海家が行っている。敷地は鳴海家が所有する民有地であるため、市が整備することは難しいと認識している。  
**弘前市駅前住宅について**

**問** 住宅内の緑地に一部の入居者が花や野菜を植えているが市の認識は。また、建物の老朽化も進んでいる。市の対応は。

**答** 入居者から苦情が寄せられた際は、指定管理者が対応しており、市も報告を受けている。建物は老朽化が進んでいる状況であり、「弘前市公共施設維持管理マニュアル」に基づいた日常点検のほか、法定点検を実施して、入居者の安全性、居住性の確保を図っている。



今泉 昌一  
(さくら未来)



**新型コロナウイルスへの対応、食で応援学生支援業務について**

**問** 学生の生活実態やニーズをどのように把握しているか。

**答** 食べることに困るほどの苦しさはないという学生が多い一方で、アルバイトが減少し、経済的に困窮しているという声も聞く。人間関係などでストレスや不安を感じ、心の健康を害する学生が全国的に増加しているという調査結果もある。

**文化財、文化施設等の教育現場における活用について**

**問** 児童・生徒の見学状況は。

**答** 令和2年度は小学校15校、中学校4校が、令和3年度は8月末時点で小学校14校、中学校4校が文化財や各施設の見学を行っている。文化財、文化施設等をさらに学校教育に活用するには、各学校から文化財などへの移動手段の確保や、スケジュール調整が課題となっている。



工藤 光志  
(木揚公明)



**除雪について**

**問** 市民から除排雪の苦情・要望の多い地区とその対策について伺う。

**答** 市民からの要望については市街地である一大地区、二大地区、三大地区、文京地区から多く寄せられており、内容は排雪・拡幅要望や寄せ雪が多いなどである。除排雪業務について、平成15年度から「道路除排雪業務成績評価」を行っており、成績評定点が低い受注者には指導

をし、50点未満の受注者は次年度の入札に参加ができないことになっている。今年度からの新たな取組として、除排雪業務に対する受注者の取組意欲を喚起し、作業品質等の向上を目的に、評定点が標準点となる65点未満の場合には、「道路除排雪業務改善計画」の提出を入札参加の要件とする。さらに、2年連続で計画の提出要件に至った受注者は次年度の入札に参加ができないことにしている。



佐藤 哲  
(櫻鳴会)



**市内高等学校の学校再編について**

**問** 県の再編計画に対する市の見解は。

**答** 高等学校教育を取り巻く環境は、グローバル化や情報通信技術の進展等により急速に変化しており、生徒が進路実現に向けた教育を受けるための学校・学科の充実や教育環境の整備は、人づくりに大きな影響を与える。県の第1期実施計画による弘前実業高校農業経営科の廃止は誠に残念で、今回の第2期では中南地

区の意見交換会で一度も議論されずに学級減対象の学校と学科名が示され、県内他地区に比べて志願倍率が極端に高い中南地区の課題を無視した内容で非常に困惑している。令和3年度の県立高校全日制の入学選抜の志願倍率は、中南地区が県内で最も高く、不合格者数も東青地区の2倍近くで、地域の実情への配慮が感じられない計画であり、当市の最重要項目として県に見直しを要望していく。

松橋 武史	今泉 昌一	小田 桐慶二	鶴ヶ谷 慶市	石岡 千鶴子	石田 久	三上 秋雄	佐藤 哲	越 明男	工藤 光志	清野 一榮	田中 元	宮本 隆志	下山 文雄
○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○

**令和3年第2回臨時会審議結果**

※議会での慎重審議により、承認、可決となりました。

市長提出議案：2件

予算関係：1件、その他：1件

**令和3年第3回定例会審議結果**

※議会での慎重審議により、可決、認定となりました。

市長提出議案：18件

予算関係：7件、決算関係：7件

条例関係：3件、その他：1件

議員提出議案：1件

議員発議：1件

# 委員会等活動報告

## 議会運営委員会

9月10日(金) 市役所

①議会基本条例の検証で出された項目の取扱いについて

9月17日(金) 市役所

①議会基本条例の検証で出された項目の取扱いについて

9月24日(金) 市役所

①議会基本条例の検証で出された項目の取扱いについて

議会運営委員会では弘前市議会基本条例の検証を行い、去る令和3年2月19日に検証結果を議長に提出しました。その検証の過程において、条文を新設してはどうかとの提案が出され、その項目について引き続き協議を行っていたところです。議会運営委員会としては、「危機管理体制の整備」については条文として新設すべきと協議がまとまったことから、議長にその協議結果を報告することになりました。

## ひろさき市議会だより 編集特別委員会

7月27日(火) 市役所

①掲載内容について

9月24日(金) 市役所

①掲載内容について

②編集日程について

## 議員全員協議会

8月27日(金) 市役所

①令和4年度青森県に対する重点要望事項について

## 議会の傍聴 自粛のお願い

傍聴にお越しの皆様のご健康を守るため、また、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、当面の間、本会議及び委員会等の傍聴については、できる限りお控えくださるようお願いいたします。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。本会議および予算決算常任委員会は、インターネット中継でご覧になれます。また、市役所 前川新館 1階市民ギャラリーにモニターテレビを設置し、中継放送しております。

### 次回定例会日程(予定)

(11月19日(金)) 議会運営委員会 会期日程等の協議

11月26日(金) 開会日(本会議) 開会、会期の決定、提案理由の説明

12月21日(火) 閉会日(本会議) 各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会

※日程、傍聴の取扱いについては、議会開会前にホームページ等でご確認ください。

## 定例会一般質問等のラジオ放送

本会議の傍聴やインターネットでの中継視聴ができない方のため、ラジオ放送もしています。FMアップルウェーブ(周波数78.8メガヘルツ)で、一般質問等の様子を当日午後8時から放送します。

※緊急時、災害時には変更される場合も有ります。

「ひろさき市議会だより」について、ご意見・ご感想などがありましたら、今後の参考にさせていただきますので、TEL・ファクス・メールなどお気軽にご連絡ください。(連絡先は右上に有ります。)

## 表紙の写真大募集!!

◎テーマ 弘前市内で撮影された写真(風景・まつり・イベントなど)

◎規格 デジタル写真データ (JPEG形式、サイズ1MB以上、横撮りのみ)

◎応募資格 弘前市に在住・在勤・在学の方

◎応募方法

写真のタイトル(10文字以内)・撮影場所・撮影日・住所・氏名・電話番号を明記の上、メール、郵送、持参。  
※メールの場合は、件名に「だより表紙写真」と入力してください。

◎掲載時期 令和4年3月発行予定の第68号

◎締め切り

締め切りは令和4年1月7日(金)です。また、応募写真が必ずしも採用されるとは限りません。

◎応募上の注意

応募写真に個人を特定できるような人物(第三者)が写っているとき、または、撮影した対象物が個人の所有物である場合は、応募者の責任で人物(被写体)、または、所有者の承諾を得てください。(本市議会では第三者からの著作権侵害、肖像権侵害等の請求を一切受け付けません。)

【詳しくはホームページ、または議会事務局へお問い合わせください。】

